

## 廣直高 Naotaka Hiro

1972 大阪生まれ。現在、ロサンゼルスを拠点に制作活動を行う。

1997 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) BA

2000 カリフォルニア・インスティテュート・オブ・ジ・アーツ (CAL ARTS)、パレンシア、MFA

### 個展

#### 1999

タカ・イシイ・ギャラリー、東京

#### 2007

「誰も知らない」MISAKO & ROSEN、東京

#### 2008

「Naotaka Hiro」 ザ・ボックス、ロサンゼルス

「人違い/Wrong Person」MISAKO & ROSEN、東京

#### 2009

「TO AND FROM」(with Sid M. Duenas) Dobaebacsa、ソウル

#### 2012

「Unknown: Video Works 2006-2011」ブレナン・アンド・グリフィン、ニューヨーク

#### 2013

「PIT AND LOG」ブレナン・アンド・グリフィン、ニューヨーク

#### 2015

「RED OLIVE、GOLDEN LIPS」MISAKO & ROSEN、東京

#### 2016

「BIG QUESTION」ブレナン・アンド・グリフィン、ニューヨーク

「PEAKING」ザ・ボックス、ロサンゼルス

#### 2017

「GIBBOUS」ブレナン・アンド・グリフィン、ニューヨーク

#### 2018

「ブレッキング・ザ・ウェーブ」シェーン・キャンベル ギャラリー、シカゴ

#### 2019

「In the Ravine (峡谷にて)」MISAKO & ROSEN、東京

「Subterranean & Wanderer」ブレナン・アンド・グリフィン、ニューヨーク

#### 2021

「Armor」ザ・ボックス、ロサンゼルス

「Green Door」ヘラルドストリート、ロンドン

#### 2022

「Sand-man」ボルトラミ、ニューヨーク

#### 2024

「Two Worlds」ザ・ボックス、ロサンゼルス

「Limbs, Anatomy, Grandview」MISAKO & ROSEN、東京

#### 2025

ボルトラミ、ニューヨーク (予定)

### グループ展

#### 1997

「カールズ・プレイス」クオン・ブラザーズ、ロサンゼルス

「カールズ・プレイス 2」ロサンゼルス・コンテンポラリー・エキシビションズ (LACE)、ロサンゼルス

「IMPRUDENT」、ホワイト・ギャラリー、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA)

「ダグ・エイケン、アレックス・バッグ、廣直高」タカ・イシイ・ギャラリー、東京

#### 1998

「エロポップトウキョウクリスマス」ナディッフ、東京

「RE-LAX」ギャラリー・クリンジンガー、オーストリア

「GOOD-BYE、ENIWETOK」、ピヨンド・バロック、ロサンゼルス

#### 2000

「ARTIFICIAL REAL」LOW、ロサンゼルス

#### 2001

「INAUGURAL SCREENING」C-レベル、ロサンゼルス

「NEW ROMANTIC」ダイアンプロイス、ロサンゼルス  
「ヒロポンショー」東京都現代美術館、東京

## 2002

「LANDSCAPE」ゼロワンギャラリー、ロサンゼルス  
「YOUNG JAPANESE ARTISTS」LIMN ギャラリー、サンフランシスコ

## 2003

「プラハビエンナーレ 1」ナショナルギャラリー、プラハ、チェコ共和国

## 2004

「OPEN CALL LA 2004」ロサンゼルス市立ギャラリー、ロサンゼルス  
「MAANA ART FES」曽根裕スタジオ、パサデナ  
「THE GROCERY LIST」アート 2102/ザ・マウンテン、ロサンゼルス

## 2006

「PANIC OUR OLDER BROTHER」ALM ギャラリー、ミュンヘン  
「POLYSPHARE」ラウムコマンダー、ベルリン  
「AJA XX:AP1/2」JACCC、ロサンゼルス  
「CORONA」シド・デュエナスとの二人展 誌上企画  
「Many Many Guys and Girls, All Real Beauties」サーカス・オブ・ブックス、ロサンゼルス  
「Chain Mail」ハイ・エナジー・コンストラクツ、ロサンゼルス

## 2007

「RENTAL presents TRUDI: NO JERKS」レンタル、ニューヨーク

## 2008

「Figures」デビッド・コーダンスキーギャラリー、ロサンゼルス  
「ニュートーキーコンテンポラリーズ」新丸の内ビルディング 7F、丸の内ハウス、東京

## 2009

「Extra Extra」チャイナ・アート・オブジェクト、ロサンゼルス  
「ゲバゲバサマーショー ～ゲバゲバな 4 週間～」Misako & Rosen、東京

## 2010

「ATLAS OF GIFTED IDEAS」ヘンリー・アート・ギャラリー、シアトル  
「田中功起／廣直高、大城カズ」ラス・シエネガス・プロジェクト、ロサンゼルス  
「SYMPATHETIC MAGIC／神話と儀式」アーモリー・センター・フォー・ジ・アーツ、パサデナ

## 2011

「Pt. & Pt. with Sid M. Duenas, High Desert Test Site」ジョシュア・ツリー、ユッカ・バレー  
「Objects for the Living」ポスト、ロサンゼルス  
「Happy Mind - My View」Misako & Rosen、東京

## 2014

「WHERE THE SAND WORMS SLUMBERS」チャーリー・ジェイムスギャラリー、ロサンゼルス、  
「HALF EMPTY」ブレナン&グリフィン、ニューヨーク  
「IS THE ART PRETTY? NO, SAYS MUMMY. PRETTY IS NOT IMPORTANT」Beefhaus、ダラス  
「EAST SIDE TO THE WEST SIDE」FLAG Art Foundation、ニューヨーク  
「MEN IN LA: THREE GENERATIONS OF DRAWERS」The Box、ロサンゼルス

## 2015

「GROUP EXHIBITION: GUY GOODWIN, HEATHER GUERTIN, NAOTAKA HIRO, DAVE McDERMOTT, JASON MEADOWS」Brennan & Griffin、ニューヨーク  
「ALFRED JARRY ARCHIPELAGO: LA VALSE DES PANTINS - ACTE II」フェルム・ド・ビュイソン現代アートセンター、パリ  
「R.S.V.P. LOS ANGELES: THE PROJECT SERIES AT POMONA」ボモナカレッジ付属ベントン美術館、カリフォルニア  
「MIRROR EFFECT」The Box、ロサンゼルス、

## 2016

「PROTUBERANCES」LA><ART、ロサンゼルス  
「PLACEBOUND」ウッドベリー大学、カリフォルニア  
「A MODEST PROPOSAL」Hauser & Wirth New York 18th Street、ニューヨーク  
「HUMAN AFTER ALL」VCUarts、バージニア  
「IMPROMPTU」The Box、バージニア

## 2017

「ABSTRACT / NOT ABSTRACT」ムーア・ビルディング、マイアミ（キュレーション：ジェフリー・ダイチ&ラリー・ガゴシアン）  
「BETWEEN WORDS AND SILENCE: THE WORK OF TRANSLATION」Aアーモリー・センター フォー・ジ・アーツ、カリフォルニア  
「THE ECSTASY OF MARY SHELLEY」Los Angeles Contemporary Exhibitions、ロサンゼルス

## 2018

「MADE IN L.A.」The Hammer Museum、ロサンゼルス（キュレーション：アン・エレグッド&エリン・クリストベイル）  
「HOG'S CURVE」Halsey McKay Gallery、ニューヨーク

「ALAN SHIELDS PROJECT」 Van Doren Waxter、ニューヨーク  
「ハッピーマインド・ナチュラルハイ」 MISAKO & ROSEN、東京  
「廣直高 エリック・ウェズリー プーネー・マグザエ&ロビン・ペック」 ステップシスター、ニューヨーク

## 2019

「コンドーロンドン」 サザード・リード、ロンドン  
「土肥美穂、廣直高、富永航」 ノナカヒル、ロサンゼルス

## 2020

「myseleves」 Kohn Gallery、ロサンゼルス

## 2021

「Sweet Home」 クリスタル・パス・メソッド、ニューヨーク（オーガナイズ：キャサリン・ブレナン、タイトル：COBRA）  
「Upstairs: Sweet Home」 レイチェル・ウフナー、ニューヨーク（オーガナイズ：キャサリン・ブレナン、タイトル：COBRA）  
「Disturbances in the Field」 ネバダ美術館、ネバダ

## 2022

「The Hearing Trumpet: part I」 Marguo gallery、パリ  
「New Abstracts: Recent Acquisitions」 LACMA ロサンゼルス・カウンティ美術館、ロサンゼルス  
「Shadow Tracer: Works on Paper」 アスペン美術館、アスペン  
「Open Storage: 25 Years of Collecting」 The Warehouse、ダラス

## 2023

「Papertrail」 マシュー・ブラウン、ロサンゼルス  
「Watercolours, Chapter III」 ヴァイス・フォーク、バーゼル

## 2024

「Collection Displays」 ニューヨーク近代美術館、ニューヨーク  
「What it Becomes」 ホイットニー美術館、ニューヨーク  
「AWT FOCUS 『大地と風と火と：アジアから想像する未来』」 大倉集古館、東京（監修：片岡真実）

## スクリーニング

### 1997

「カールズ プレイス」 クオン・ブロス、ロサンゼルス  
「カールズ プレイス 2」 LACE、ロサンゼルス

### 1998

「Good Bye, Eniwetok」 ビヨンド・バロック、ロサンゼルス

### 2001

「イナーゲラル・スクリーニング」 C-レベル・チャイナタウン、ロサンゼルス  
「アートウォーク・アフター・パーティー2007」 LACMA MUSE、ロサンゼルス

### 2008

「ゼゾン・ビデオ フィジカル、ポートレイト、アイディアル#10」 ルーバイックス、フランス  
「マダー・プリテンデッド」 カーサ・ベキーナ（自主企画）  
「ヤング・アンド・イーブル」 タンク TV（インターネット媒体、企画：スチュワート・カマー）

### 2009

「ヤング・アンド・イーブル」 REDCAT、ロサンゼルス  
「I Found Myself an Innovator」、DiverseWorks、ヒューストン（企画：レイチェル・クック、奥村雄樹）

### 2010

「NO SOUL FOR SALE」、テートモダン、ロンドン

### 2016

「RAW 2016」 Reed College、ポートランド

### 2018

「BODIES 2」 France Los Angeles Exchange (FLAX)、ロサンゼルス

## 刊行物

「Corona Issue no.1」 (ed. 500)、magazine project with Sid M. Duenas、2006  
「To and From」、with Sid M. Duenas、2008  
展覧会カタログ「RSVP LOS ANGELES: THE PROJECT SERIES AT POMONA」 エッセイ：グレン・フィリップス、2015  
展覧会カタログ「WHERE THE SAND WORM SLUMBERS」、2015

## パブリックコレクション

MoMA、ニューヨーク  
The Whitney Museum、ニューヨーク

MOCA、ロセンゼルス

The Hammer Museum、ロセンゼルス

The Santa Barbara Museum of Contemporary Art、サンタバーバラ

国立国際美術館、大阪

Minneapolis Institute of Art、ミネソタ

Tumurun Museum、スラカルタ